

# 12月市議会報告

## 神辺診療所 存続署名 3321筆!

「なくさないで」——住民の願いにこたえよ

市民病院附属神辺診療所の廃止案に対し、「守る会」が提出した「存続要望書」が、12月20日の本会議で採決されました。

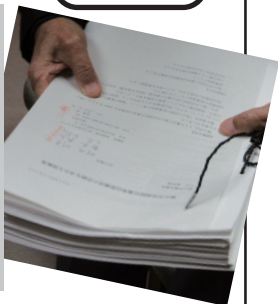
当日まで地元住民や患者家族が集めた3321筆の署名を示し、河村ひろ子市議が賛成討論を行ないました。しかし採決の結果、賛成は日本共産党市議団のみで、住民の切実な願いに反し、反対多数の不採択となりました。

### 請願への賛否

| 会派    | 賛否 |
|-------|----|
| 水曜会   | ×  |
| 公明党   | ×  |
| 誠友会   | ×  |
| 市民連合  | ×  |
| 日本共産党 | ○  |
| 新政クラブ | ×  |
| 無所属   | ×  |

× 反対 ○ 賛成

神辺診療所は町立病院として1958年に発足。今も地域の財産・医療拠



点として大切な役割を果たし、昨年度の患者数は1万3785人になります。

一般質問で党市議団は、

「高齢の母は車いすで通院している。緊急対応もあり安心して在宅介護していたが、今後がとても不安」など住民の声を紹介し、廃止案の撤回を強く求めました。

高齢化社会を迎え、医療の充実がさらに求められるなか、介護施設や民間病院と連携し、地域医療の基幹となる自治体病院の役割は重要です。

市は、廃止方針を「喜ばれる結論ではない」と認めています。住民の願いにこたえた今後のあり方を示す必要があります。

## 大気汚染

降下ばいじんを防止し

市民の健康と生活を守れ



さらなる排出抑制に向け助言する

「部屋が真っ黒になる」「洗濯物がざらつく」など、

降下ばいじんの被害を訴える声が住民から相次いでいます。ぜんそくなど呼吸器疾患の原因にもなるため、被害の軽減対策が早急に必要です。

市は、降下ばいじんの測定機器を市内14カ所に設置していますが、水呑、蔵王、日吉台、坪生町方面など工業地帯からの風が吹く地域へ増設が必要です。さらに、発生源測定局として常時監視するJFEと瀬戸内共同火力発電所の測定結果の公表と、発生源に対し、密閉型原料処理システムなど粉じんの飛

12月定例市議会で、日本共産党市議団が行なった一般質問や補正予算の討論をご報告します。引き続き、市民の声を市政に届け、要望実現にがんばります。

## 予算

2016年度一般会計補正予算  
貯めこむ前に、市民のために!

歳出歳入51億4761

万5千円を追加する今回

の補正予算は、災害復旧や道路などの維持管理、放課後児童クラブの施設拡充など、賛成できる施策も多くあります。

しかし、基金の積み立てに多額をまわし、**環境整備基金は合計27億**

ど監視・指導している。事業所全体の調査を行い、更なる排出抑制に向け助言していく」と答弁しました。また、市民からの苦情など相談体制の改善と、被害の現状調査を求めました。

党市議団は、住民アンケート調査を行い、引き続き被害軽減に尽力します。

ばいじんとは? 物が燃えた際に発生・飛散する微細物質で、大気汚染防止法で規制される「ばい煙(各種有害物質)」の一種。

円余、財政調整基金は170億円余にもなります。

福山の教育は、中学校給食や校舎の耐震改修、教室の空調設備など環境整備が遅れています。貯めこむ前に、市民の福祉・医療・介護・教育の充実に生かすべきと主張し、反対を表明しました。

## 転落死亡事故を防ぐ対策を!

三吉町蓮池川で80代女性が転落死亡した事故を受け、12月20日、市に対策要望を申し入れました。現地調査で、蓮池川沿岸は他にも危険な場所があることが分かり、引き続き安全なまちづくりを尽くす決意です。



現地調査する市議団4人=19日

## 日本共産党 議員団 NEWS

発行  
日本共産党福山市議会議員団  
広島県福山市霞町3-4-25-401  
電話・FAX 084-922-2815



村井あけみ 高木たけし 土屋ともり 河村ひろ子